



## インターハイでの活躍振り返る

一関工バスケ部の佐々木凌音さん(9区/2年)ら

香川県で7月27日～8月1日に開催されたインターハイ(全国高校総合体育大会)バスケットボール競技に一関工業バスケ部が出場し、全国大会で初勝利しました。平泉中学校出身では、主力の佐々木凌音さん(2年)＝写真左中央＝のほか、(写真左から)高橋悠太さん(1年)、高橋徹至さん(3年)、阿部蒼介さん(2年)が在籍しています。

佐々木さんは「全国レベルのチームの強さが身に染み込んだ。1勝できたのはうれしかった」と振り返りました。



## 地域安全活動功労者表彰を受ける

町防犯協理事の鈴木四郎さん(2区)ら3人

防犯活動に尽力したとして、いずれも町防犯協会理事の鈴木四郎さん(2区)、鈴木節郎さん(12区)、菅原東一さん(11区)が、一関地区防犯協会連合会長と一関警察署長連名の地域安全活動功労者表彰を受けました。

3人は登下校時間帯や災害警戒のパトロール活動を継続しています。7月28日に青木町長へ受賞を報告し「地域の安全のため、子供たちの見守りなどを続けたい」などと決意を新たにしました。



## 準備に励み当日待ち望む

平泉大文字送り火に向けた「火床作り」

【1㉟に本記】平泉大文字送り火に向けた火床作りでは、木材約3300本と塔婆約4000枚を参加者が手渡しで運びました。平泉中からは例年2年生が参加していましたが、初めて1年生も加わりました。約2時間半で64基を完成させ、16日の本番を待ち望みました。

岩淵歩大さん(2年)は「送り火は毎年見ている。火床作りは大変で、今年は見方が変わってくる。協力して作ることができ楽しかった」と充実感をにじませました。

## 駒形峰の山肌に「大」の字浮かぶ

送り火に花火が彩り添える

平泉大文字送り火(平泉観光協会主催)は8月16日、町内で行われました。

戦没者の追善と先祖代々の精霊供養のため毎年行われています。同日は、中尊寺本堂の「不滅の法灯」から火種が分火され、駒形峰に「大」の字に並んだ火床への点火が午後8時ごろに始まりました。赤々と燃える大文字が山肌から浮かび、打ち上げられた花火と一緒に見入る人たちの姿が見られました。



## 建築組合青年部が町に木製ベンチ寄贈

町学習交流施設「エピカ」へ設置

平泉建築組合青年部(小野寺直部長)は8月5日、町学習交流施設「エピカ」開館を記念して木製ベンチ4台を町に寄贈しました。エピカ入口に設置され、来館者のサービス向上のため活用されます。

同日は小野寺部長と阿部亮さんがエピカを訪れ、菅野達也館長に目録を手渡しました。小野寺部長は「町内の皆さんに末永く愛用してほしい」と期待。菅野館長は「大切に長く使っていただく」と感謝しました。

## 親子で思い思いに作品作り

西行桜の森木工芸館「遊鵬」で木工教室

西行桜の森の木工芸館「遊鵬」(長島字深山)で8月6日、親子木工教室が開かれました。町内外から6組15人が参加。同館管理人でひらいずみ里山倶楽部の千葉健一会長を講師に、本立てや貯金箱などから一つを選んで制作しました。

長島小学校1年の小野寺由真さんは「木をのこぎりで切ったり、くぎを打つのが難しかった。作った本立ては机の上に置いて教科書を並べたい」と語りました。



## 千葉七子さん、100歳迎える

家族らが健康長寿を祝う

町内の特別養護老人ホームいこいの結に入居する千葉七子さんは8月22日、100歳の誕生日を迎え、家族や施設職員らが健康長寿を祝福しました。千葉さんは長生きの秘訣を「何でも食べることだね」と語ります。

千葉さんは一関市千厩町出身。22歳で結婚し、夫と長く農業に従事し、子3人、孫7人、ひ孫10人に恵まれました。踊りや華道などが趣味で、老人クラブなど地域活動にも長年、積極的に取り組みました。



## 先人の冥福祈り恒久平和へ思い新た

町戦没者追悼式

令和4年度町戦没者追悼式(町主催、町遺族会共催)が8月10日、平泉ホテル武蔵坊で営まれ、参列者が先人の冥福を祈って献花し、恒久平和への思いを新たにしました。

遺族や来賓など約50人が参列。町遺族会の佐藤文政副会長は「国の安泰を祈り、家族の安寧を念じた御霊の冥福を祈る。幾多の困難を乗り越えた私たちは平和な世界になるよう努力することを誓う」と追悼しました。